

京都市「雨に強いまちづくり」の取組 ～烏丸丸太町幹線の全面供用開始について～

令和7年10月28日

京都市 上下水道局

- 1 事業の背景
- 2 関係機関が連携した取組
- 3 幹線の概要と効果

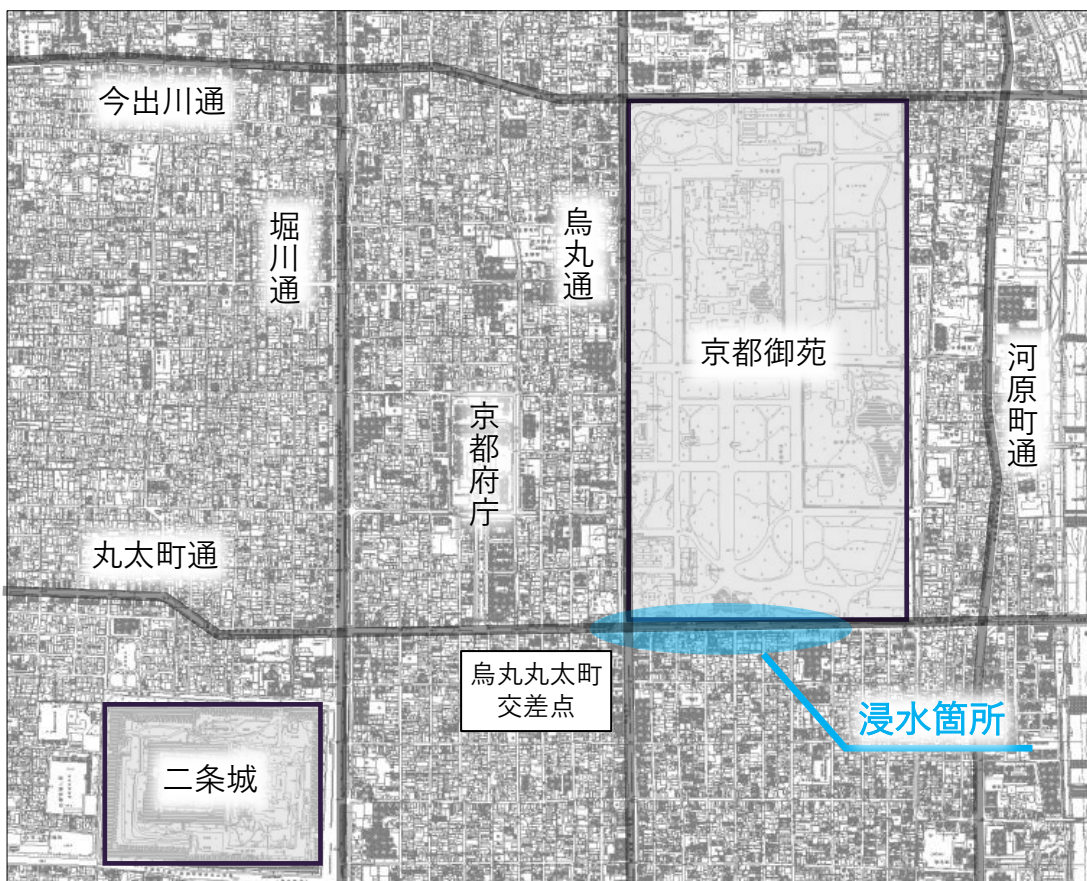


1 事業の背景



大雨時の浸水被害

1 周辺の位置図



2 過去浸水被害が発生した大雨

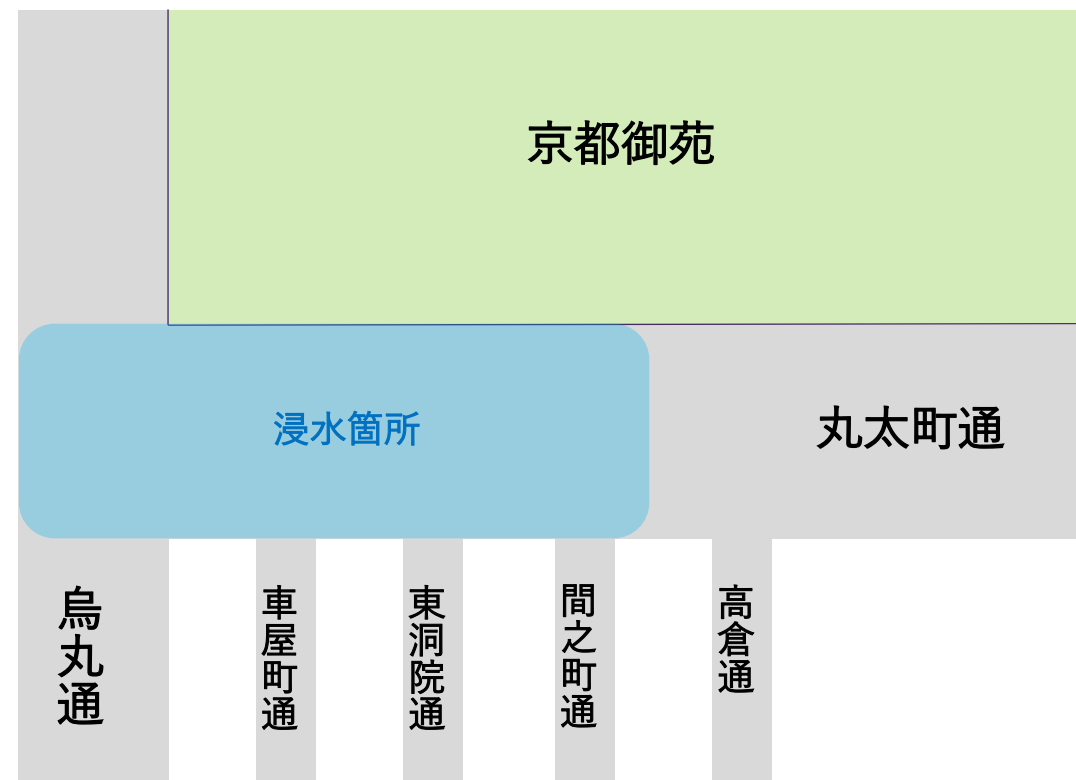
日時	雨量（京都地方気象台）
令和4年7月19日	1時間に88mm
令和3年7月3日	1時間に64mm
令和元年7月23日	1時間に19.5mm (10分間に12mm)
平成26年8月16日	1時間に87.5mm
平成17年8月8日	1時間に33mm
平成16年8月7日	1時間に20mm (10分間に7.5mm)
平成11年6月27日	1時間に68mm
平成10年10月15日	1時間に73.5mm
平成9年8月5日	1時間に49.5mm

浸水被害の状況②

3 令和4年7月 浸水状況



4 浸水被害状況イメージ





2 関係機関が連携した取組



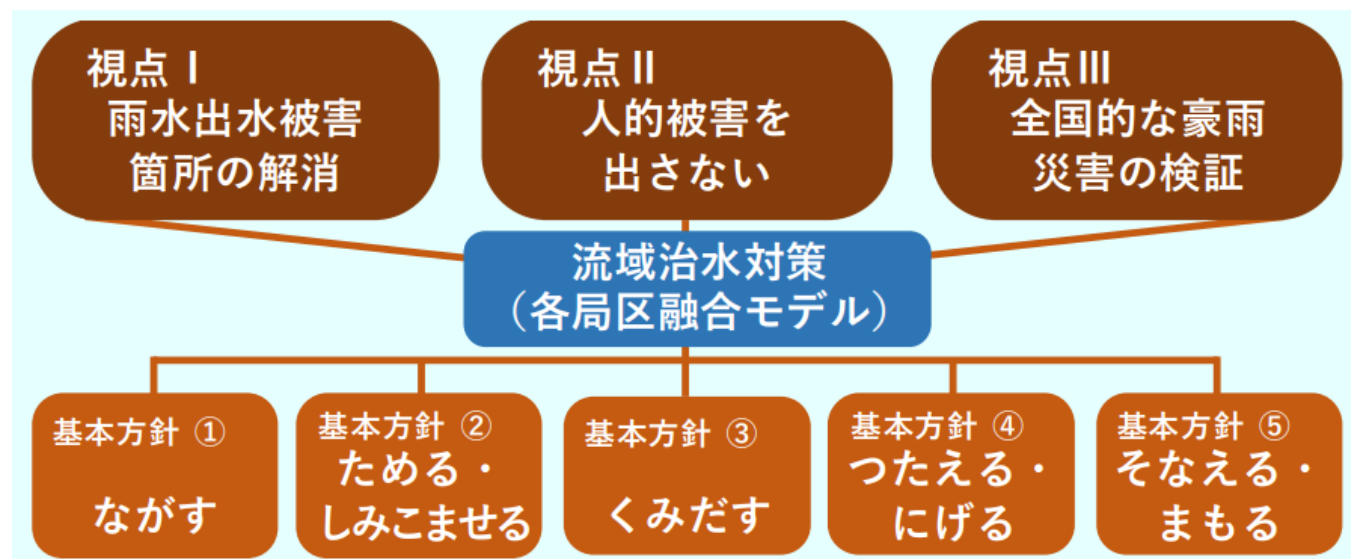
雨に強いまちづくり

京都市『雨に強いまちづくり』推進方針（令和3年3月策定）

浸水被害の最小化を図るため、関係局区が事業のさらなる連携・融合強化を図る

推進方針の構成

3つの視点と5つの基本方針に基づき取組を進める



烏丸丸太町周辺地区における取組

関係機関との連携

平成26年9月から、京都御苑を所管する環境省や、中京警察署、京都市の建設局、中京区役所、消防局、上下水道局が連携し、浸水時の情報共有や具体的な対策、連携体制の確認を行ってきた。

① 環境省（京都御苑管理事務所）の取組

- ・ 御苑敷地内の排水管清掃 ・ 雨庭の設置
- ・ 止水板の設置及び関係者の定期的な訓練

② 中京警察署の取組

- ・ 浸水時における交通対策等
- ・ 浸水常襲箇所である事の署内周知

③ 建設局の取組

- ・ 排水機能維持のため、定期的に巡回・パトロール
- ・ 落ち葉などの道路清掃、土嚢の備蓄・提供

④ 中京区役所の取組

- ・ 京都御苑との連絡体制強化（夜間の降雨にも対応）
- ・ 災害時に避難場所の設置及び自主防災会との連携

⑤ 消防局の取組

- ・ 水災警戒体制の巡回
- ・ 土嚢の備蓄
- ・ 浸水時の住民の避難対応

⑥ 上下水道局の取組

- ・ 排水機能維持のため、定期的に巡回・パトロール
- ・ 周辺道路の雨水ますの清掃
- ・ 丸太町通横断下水道管の改良工事を実施

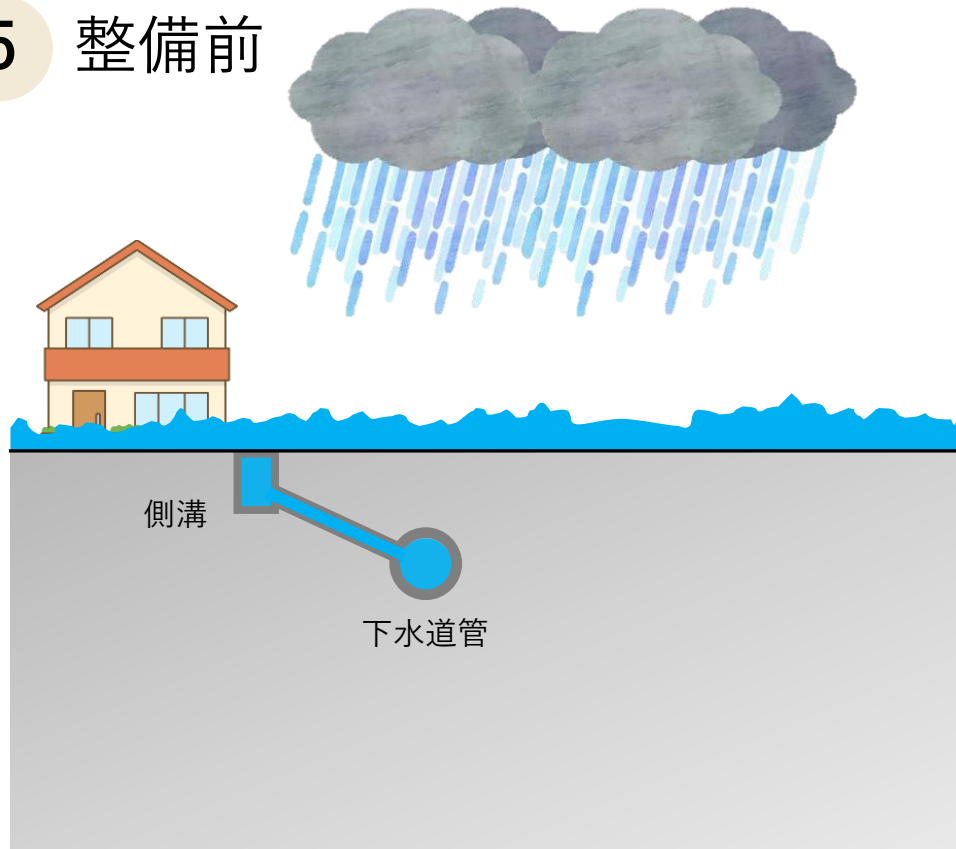


3 幹線の概要と効果



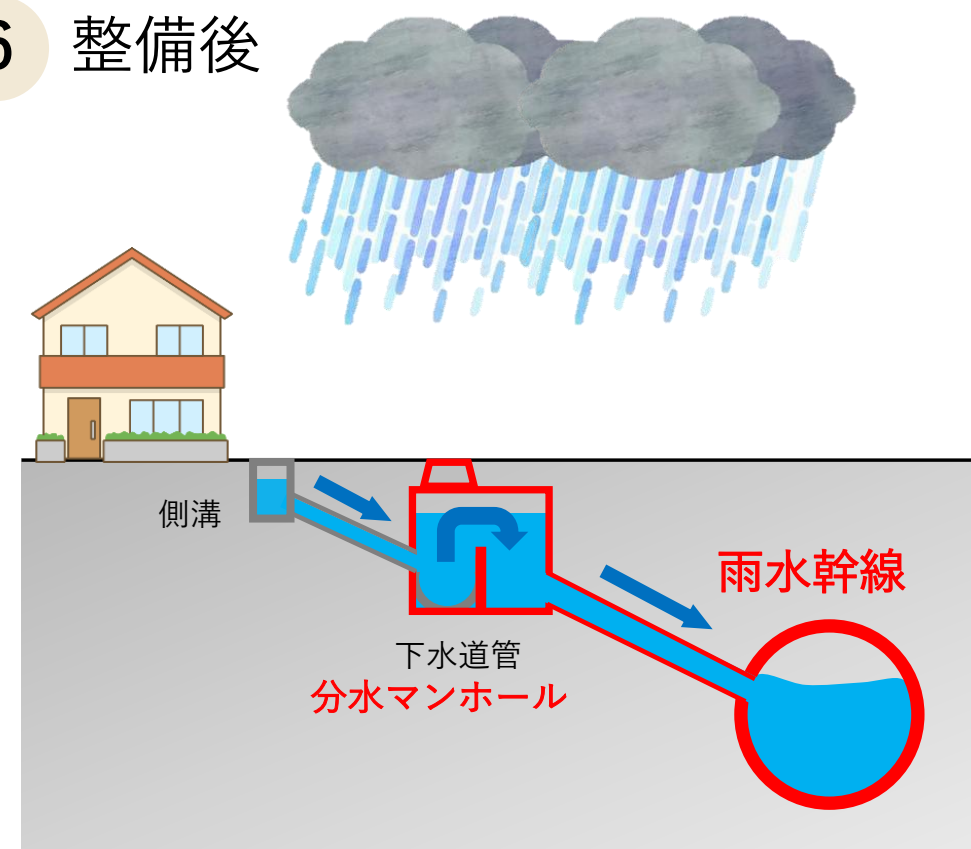
雨水幹線とは？

5 整備前



下水道の排水能力を超える大雨が
地上に溢れる。

6 整備後



下水道の排水能力を超える大雨が
雨水幹線に取り込まれる。

烏丸丸太町幹線の概要①

事業内容 烏丸丸太町周辺の抜本的な浸水対策として雨水を「ためる」機能を備えた大規模な雨水幹線の整備

対象降雨 1時間62ミリ（10年確率降雨）

口径 2.4m

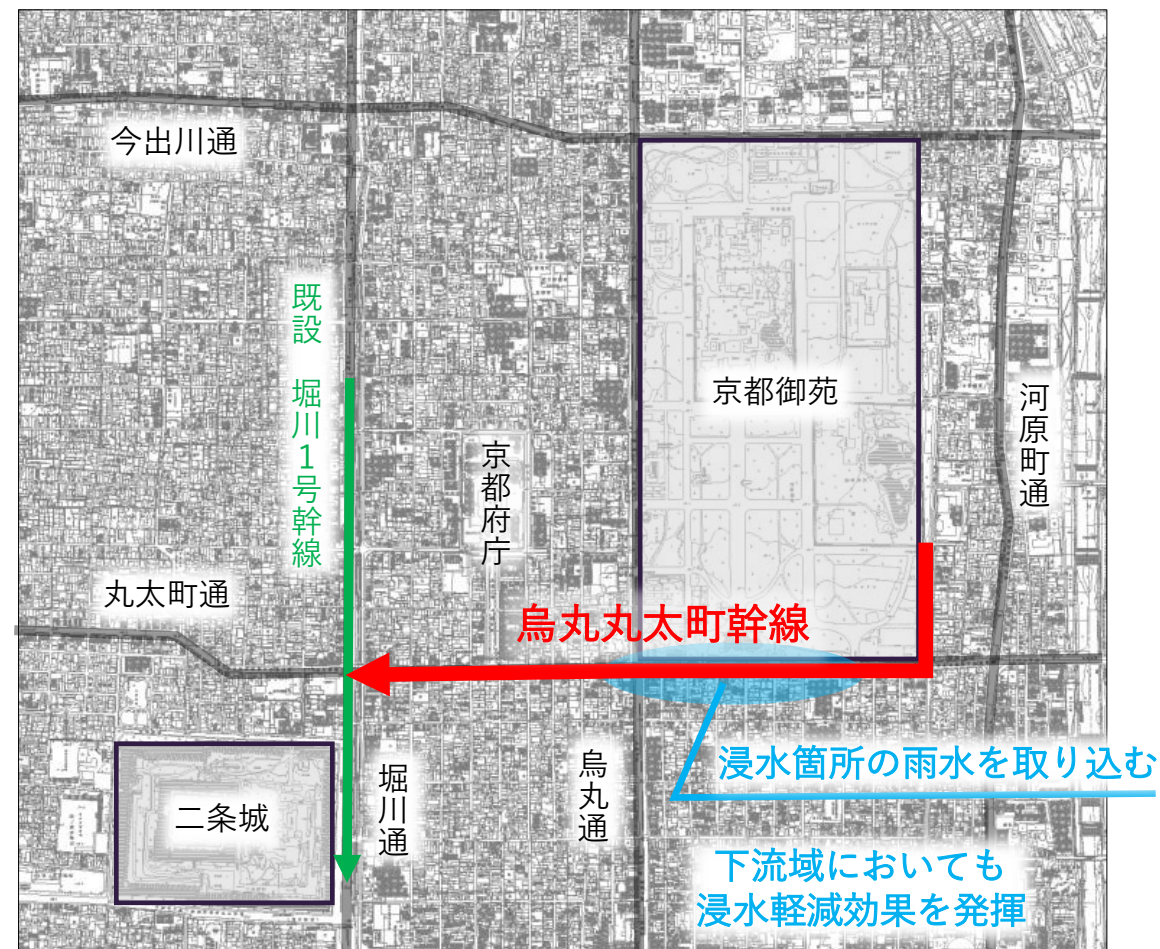
延長 1.7km

貯留量 7,700m³

事業期間 令和2年度～令和7年度

総事業費 約44億円

7 幹線整備位置図

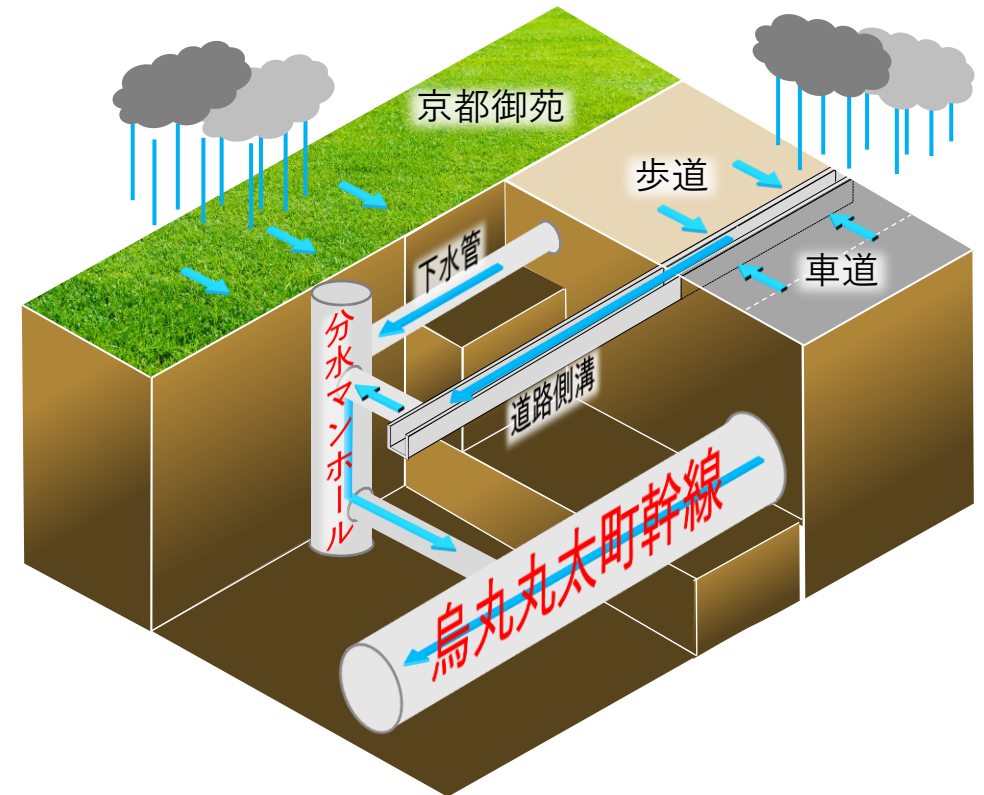


烏丸丸太町幹線の概要②

8 幹線内（地下トンネル）



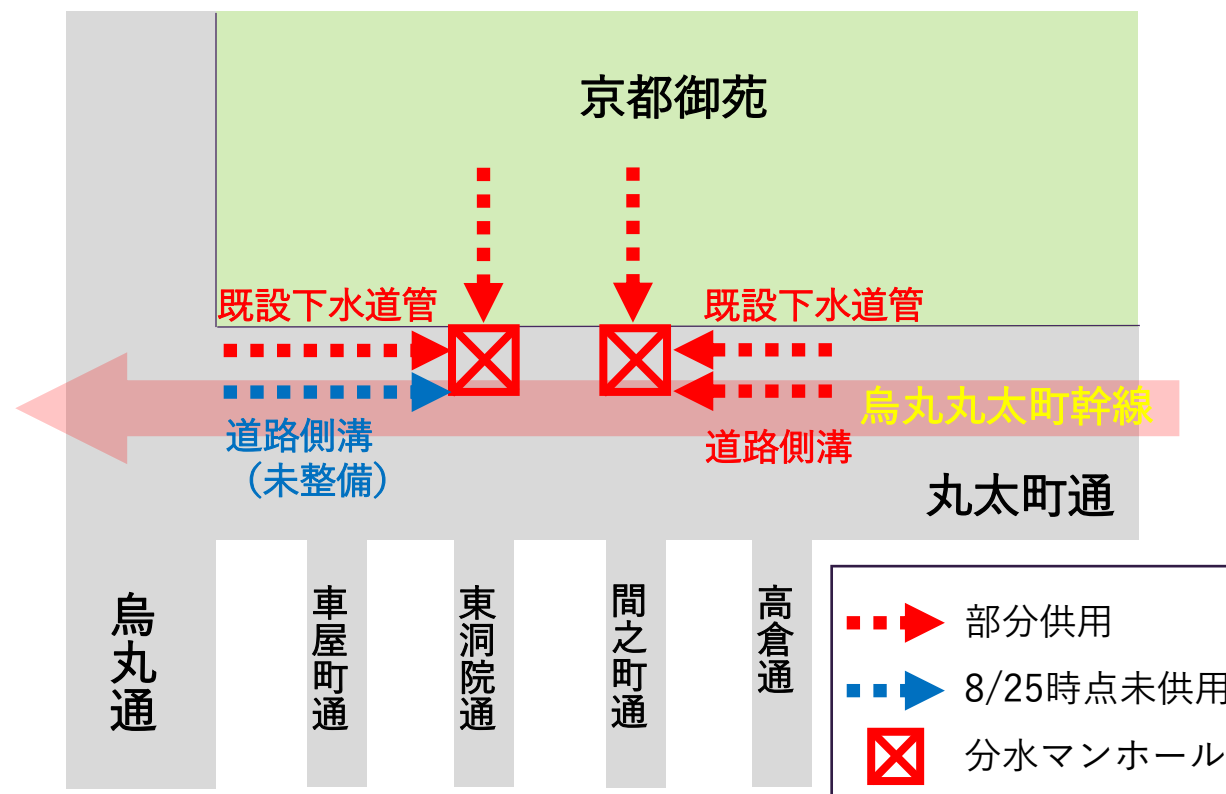
9 幹線内への雨水取込みイメージ



観測史上最大の大雨（1時間に102ミリ）で効果を発揮①

10 部分供用イメージ

- ▶ 令和7年8月1日から
部分供用を開始
- ▶ 令和7年8月25日の大雨
京都地方気象台観測史上1位
1時間に102mm

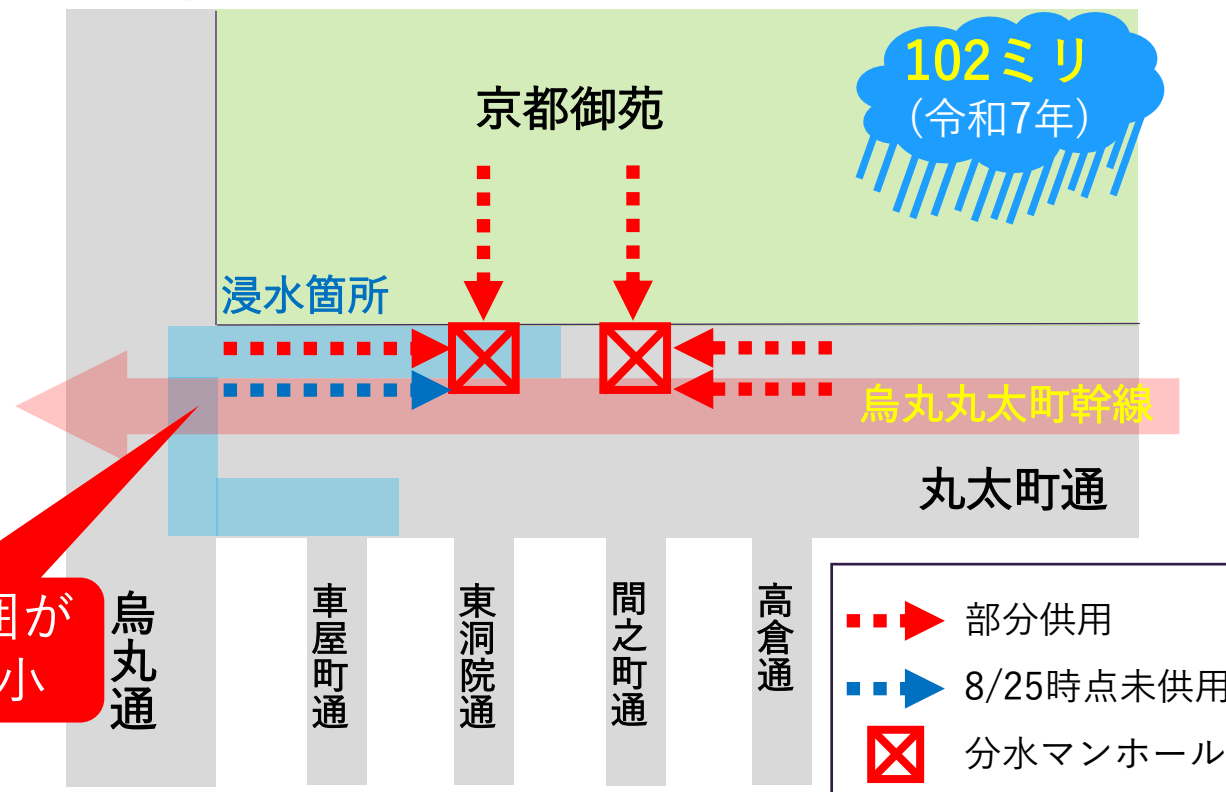


観測史上最大の大雨（1時間に102ミリ）で効果を発揮②

11 浸水被害の状況（整備前）



12 浸水被害の状況（部分供用後）



観測史上最大の大雨（1時間に102ミリ）で効果を発揮③

13 浸水被害の状況（整備前）



間之町口付近

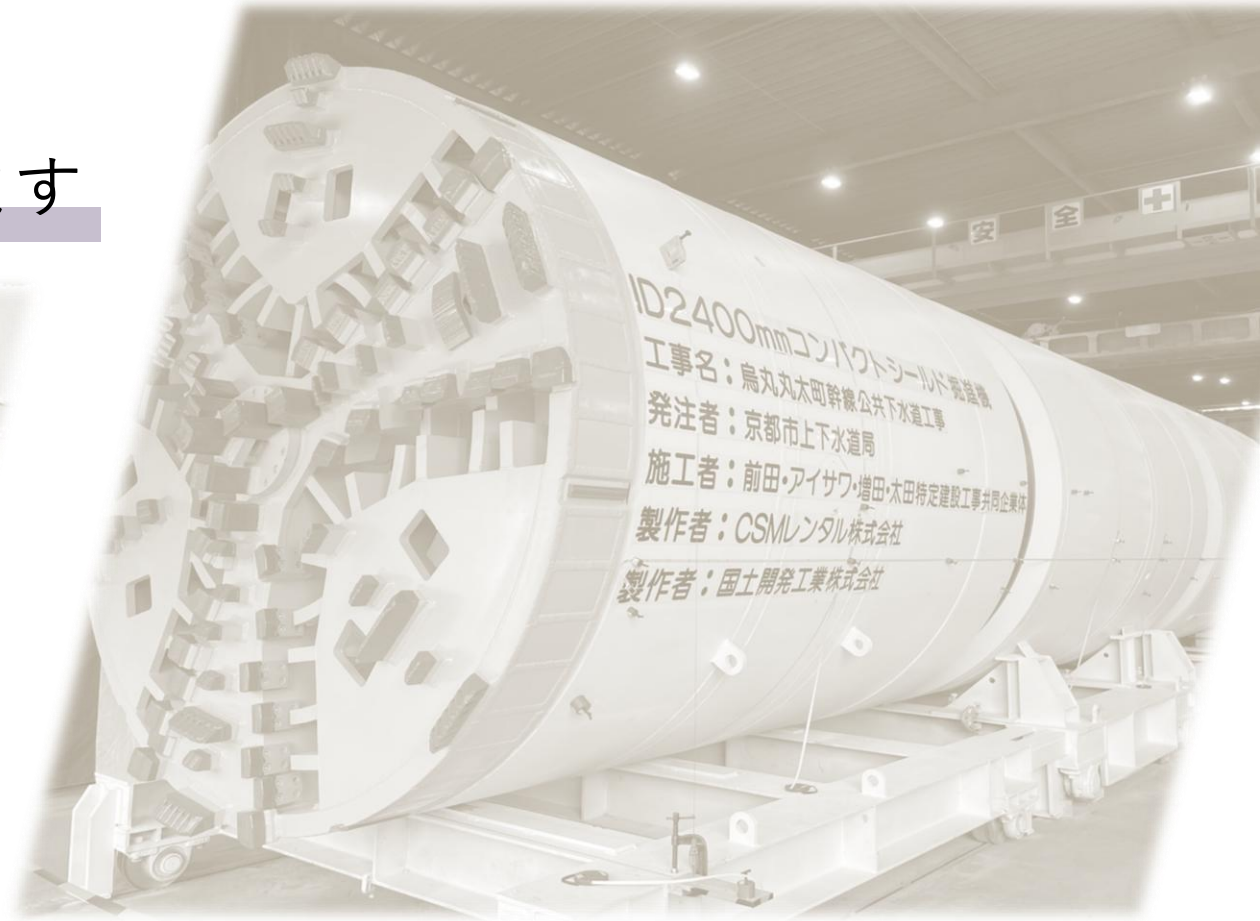
14 浸水被害の状況（部分供用後）



烏丸丸太町交差点 東入ル

3 幹線の概要と効果

令和7年11月1日に全面供用を開始します



今後も雨に強いまちづくりを推進します



ご清聴ありがとうございました。

本件に関する問い合わせ先：

京都市 上下水道局 下水道部 計画課

電話：075－672－7839